

ほんがいっぱい よんでみよう！

ねんせい ほん
5・6年生のための本



①『ポジション!』

たかだ ゆきこ さく いわさきしよてん
高田由紀子／作 岩崎書店《Fタ》

にんずう あ ももた
人数合わせのため、キャプテンの百田から
さそ うんどう おんち ぜんぜん
誘われてミニバスケットチームに入った芽吹。
うんどう おんち ぜんぜん
運動音痴で全然うまくならない。チームにい
てもよいのか悩みながら自主練を続けるが、
ほかのメンバーもそれぞれ抱えている思い
があつて…。



②『ミス・ビアンカ くらやみ城の冒険』

マージェリー・シャープ／作 わたなべしげお やく
いわなみしよてん 渡辺茂男／訳
岩波書店《Fシ》

うつく しろ ゆう
美しい白ねずみのミス・ビアンカ、勇かな
ふなの 船乗りねずみのニルス、家ねずみのバーナード。
この3匹が、崖っぷちにそそりたつ「くらやみ城」
から詩人をすくい出すという困難な仕事を引き受
けた。さて、3匹の運命は？



③『それからぼくはひとりで歩く』

アリシア・モリーナ／作 さく ほしの ゆ み やく
いぬぼう と ほ え しゅっぱん
犬吠徒歩／絵 ほるぶ出版《Fモ》

め み ねんせい がっこう とう
目の見えないハイメは5年生。学校へは父さ
んとバスで通い、帰りは母さんがきてくれる。
ところが、今日は下校時間が違った。携帯を兄
さんにかしてしまい、連絡ができずひとりで帰
ることにしたが、歩き出したとたん何かにつま
ずき…。



④『聞くのが楽しくなる耳のひみつ』

いまいずみただあき かんしゅう うえ きよし え え そうげんしゃ
今泉忠明／監修 植木美江／絵 創元社《49》

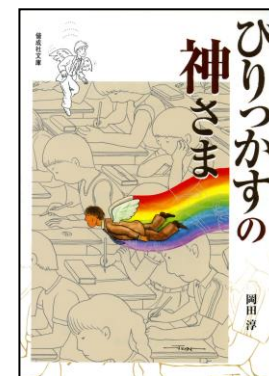
じぶん みみ み かたち
自分の耳を見てみよう。かわった形をしてい
るね。この形は、音を聞きやすくするためのな
かな？でも、聞こえる音と聞こえない音があるん
だって。それに、耳の役割は音を聞くだけじゃな
いんだよ。動物によって大きさも形も様々な耳。
さあ、耳のひみつをのぞいてみよう。



⑤『びりっかすの神さま』

おかだ じゅん さく かいせいしや
岡田 淳／作 偕成社《Fオ》

テストでいちばんの子は、いちばんまえのつ
くえ、びりは、いちばんうしろ。そんな四年一組
に転入してきた始は、教室でふしぎな男を
みた。その人は20cmくらいで、くたびれた
背広によれよれのネクタイ、おまけに小さなつ
ばさがはえていた！



⑥『ガリガリ君ができるまで』

いわさだ 岩貞るみこ／作 さく くろすたかね 黒須高嶺／絵 こうだんしゃ 講談社 《58》

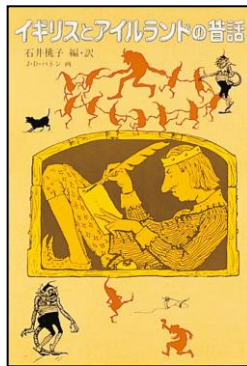
ガリガリ君が大好きなナナミは、新しい味を自分の手で作ることを夢見て、会社の商品開発部で働くことに。ところが、材料の組み合わせや量を変えて何度も試すが失敗ばかり。めざすは、食べた人が笑顔になる味！ナナミのガリガリ君は完成するのか!?



⑦『イギリスとアイルランドの昔話』

いしのももこ 石井桃子／編・訳 やく J.D. バトン／画 ふくいんかんしよてん 福音館書店 《M》

サリバンのおかみさんの赤んぼうが、一晩のうちにクシャクシャにちいさくしなびてしまった。これは、どうもようせいのかえ子らしい…。小鬼や魔女のこわい話、ふしぎな話がいっぱい。



⑧『合言葉はフリンドル!』

アンドリュー・クレメンツ／著 たなか なつこ 田中奈津子／訳 こうだんしゃ 講談社 《Fク》

ニックはユニークな男の子。おもしろいことを考えついてはほんとうにやってしまうのです。そんなニックが思いついたのは、新しい言葉「フリンドル」の発明。クラスみんなが使いはじめた「フリンドル」はどんどん広がっていき…。

⑨『おもしろからだことば 頭編』

いしづ 石津ちひろ／文 ぶん いしきよたか 石井聖岳／絵 え そうどぶんか 草土文化 《81》

おじいちゃんは頭がかたい。こんなふうにからだの一部をつかったことばが「からだことば」。では、耳が早いってどんな意味かわかる? 『おもしろからだことば 体編』もあるよ!

⑩『ランドリーの迷子たち』

シャネル・ミラー／作・絵 さく え ないとうふみこ／訳 やく ほるぷ出版 《Fミ》

マグノリアは、もうすぐ十歳。夏休みなのに旅行にも行けず、両親のコインランドリーでかたっぽだけのくつしたを見つけては「くつしたボード」にはりつけている。ある日、引っ越してきたばかりのアイリスと、くつしたの持ち主をさがすことになり…。



⑪『霧のむこうのふしぎな町』

かしわばさちこ 柏葉幸子／作 さく すぎたひろみ 杉田比呂美／絵 こうだんしゃ 講談社 《Fカ》

ピエロの顔のえのついた、水玉もようのかさを追いかけて、リナはふしぎな町にやってきた。森の深い緑の中に、赤やクリーム色のすてきな家が6けん。そこは霧の谷のふしぎな町。リナのきみような夏休みが始まった。



⑫『牛革のランドセルができるまで』

かみよしかわゆういち 上吉川祐一／写真・文 しやしん ぶん ぶんいちそうごうしゅっぱん 文一総合出版 《58》

ランドセルは牛の皮から作られます。「皮」はくさらないよう塩づけにされたり、ゴムのような物体になったり、様々な工程を経て分厚くてじょうぶな「革」に生まれ変わります。ランドセルができる様子をいっしょに追いかけてみましょう。



⑬『トマト裁判の判決はどちらだ?』

キム・ファン／作 さく やまもとくみこ 山本久美子／絵 くもん出版 《62》

トマトって赤くて水気たっぷりで果物みたいだと思っことはありますか? 果物か野菜かでトマト裁判が起きたこともあったとか。トマトの歴史やあれこれを読んでみよう!

